

今年4月からの介護保険 問題多い事業計画(素案)



日本共産党市議会議員
**松村ヤス子の
 議会報告**

2012年1月

現在 阪神間で

一番高い介護保険料 さらに月額657円増

介護保険料は、制度上、低収入の高齢者が多い場合は、基準額が高くなります。現在は、阪神間で最も高く、月額基準額は4,711円ですが、新年度からは、657円上がり、5,368円になる見込みです。介護報酬が改定されると、600円ほど高くなり、財政安定化基金を取り崩すことになり、200円安くなることの説明がありました。差し引きすると40円高くなるようです。

国民健康保険料と同じように、一般会計から繰り入れて、保険料を引き下げる

	現在の 基準額	年額
尼崎市	56,529円	
西宮市	49,100円	
伊丹市	50,400円	
三田市	51,680円	
芦屋市	52,800円	
川西市	46,800円	
神戸市	55,685円	

ことが必要です。私たち日本共産党は議会で強く求めていきます。
 市民の皆さんも「引き下げよ」との声を市に寄せてください。

年々増える滞納者割合

介護保険料は、年金からの天引きが基本ですが、年金がない人や少ない人は普通徴収といって、自分で金融機関を通して収めるようになってきました。

介護保険料は3年ごとに改定されますが、普通徴収の人の納付率は、制度が始まった2000年度では、91%ぐらいでしたが、その後保険料の引き上げに従って下がり続け、2010年度では84%にまで下がっています。

高すぎる介護保険料のために、払いきれない高齢者が増えていることは、大変な問題です。いざ、介護が必要になった場合、10割負担でサービスを受けなければならなくなったり、さまざまなペナルティーがあります。

緊急の人にも対応できない

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 特別養護老人ホームへの入所希望が多く、施設の整備が追いついていません。

市の計画では、より緊急性の高い人のための施設数をめざし、補助金や公有地

の活用などで整備を進めていきたいと思っています。

しかし、具体的には、2013年度に100床、2014年度に100床整備の計画で、心細い限りです。

要支援者にはさらに 低レベルのサービスを

これまでも、要支援の人は、ケアマネージャーから分離されて、地域包括支援センターが担当して「介護予防」とし、介護が必要にならないようにするのを目的としたい、「ともにする家事」が求められ、要支援の人には「安上りの介護保険」に分離されてきました。

今回の第5期を目指して6月に改正がおこなわれ、要支援の人には、介護保険が使えない、サービス切り捨ての仕組みが盛り込まれました。

市町村の判断で、介護予防日常生活支援のサービスを総合的に実施できる制度「総合事業」を創設しました。

この制度は、介護保険の指定サービスでなく、財源も保険給付ではありません。無資格の有償ボランティアによる家事サービスに変えられる事態もおこりかねません。ただし、全国一律ではなく、自治体が選択できるようになっています。

尼崎市は、2012年度は実施しませんが、第5期計画期間中に詳細な検討を行い、実施の判断をさせていただきます。

前回の改定では「予防重視」今回の改訂では、「総合的で多様なサービス」が口実ですが、軽度者の保険給付削減以外の何物でもありません。